**日報**

2023年07月11日

氏名：小松大二

|  |
| --- |
| ■目標  ・昨日取り掛かったProblem02 (修正済み)を正常にgithubにコミット＆プッシュする  ・Problem04に取り掛かる（余裕があればProblem05も取り組む） |
| ■作業内容  ・ Problem02内の修正内容の確認とコミット＆プッシュ（完了）  ・Problem04｛国毎の人口を集計するメソッド(aggregateNumber)｝を実装（完了）  ・Problem04（列挙値「Country」に新しい国を追加し、再度人口を集計）（完了） |
| * 習得したこと   ・変数を用意して、該当するデータが現れたらその変数がインクリメントされる処理が書けるようになった  ・utilパッケージの存在を知った  ・utilパッケージのCountry.javaから、登録されている国を確認することができた  ・Country.javaの列挙値に新たに国を追加することができた |
| * 感想   最初Problem04の問題に取り掛かろうとした際に、国ごとの人口を集計しようとしても、どこの国が登録されているのかが分からず、まずそこで苦戦しました。プログラム内に書かれているはずだとカーソルを合わせながら読んでいき、５０行目でカーソルを合わせたら国の略称が表示されたのでそこを見ながら書くことができました。次の新しく国を追加せよという問題では、public enum Country{}で国名を追加すればできるというのは調べて分かったのですが、この文をProblem04.java内に書いてもエラーが出てしまい、またモヤモヤと頭を抱えながらコードを見つつ調べていました。長々と調べ続け、ここでようやくプロジェクト内にはutilパッケージというものが存在していることを知りました。パッケージ内のCountry.javaで列挙値を見つけて、無事に新しい国を追加することができ、とても嬉しかったです。しかし、それと同時に、utilパッケージの存在をもっと早く知っていれば、登録されている国はなんなのかと頭を悩ませることもなければ、 public enum Country{}でなぜエラーが出るのかとモヤモヤすることもなかったことに気付き、少々頭が痛くなりました。 |